会 議 録

会議の名称	長期計画起草委員会（第1回）福祉と健康		
事務局	企画財政部企画政策課企画政策係		
開催日時	平成27年4月14日(火)午後6時30分～午後9時37分		
開催場所	前原暫定集会施設 B会議室		
出席者 (4人)	リーダー	志田 尚紀	委員
	副リーダー	本木 治子	委員
		岡本 鮎実	委員
		高橋 雅栄	委員
欠席者	なし		
事務局	企画政策課長補佐	中田 陽介	
	企画政策課係長	廣田 豊之	
	有限責任監査法人トーマツ	松本 善之	
	有限責任監査法人トーマツ	森田 清人	
傍聴の可否	Ⓐ	一部不可	不可
傍聴者数	0人		
<p>【会議次第】</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 前期基本計画と後期基本計画（素案）の施策新旧対照表について 2 後期基本計画（素案）について 3 その他 <p>※冒頭、次の3点を確認した。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 点目：「長期計画起草委員会設置要綱」に基づき、運営する。 2 点目：会議は公開とし、傍聴要領に沿って運営する。「意見・提案シート」についても審議会と同様設置する。 3 点目：会議録の記録方法は、審議会と同様、会議内容の要点記録とする。事務局で校正原稿を作成し、各委員に確認後、決定とする。 <p>【会議結果】</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 前期基本計画と後期基本計画（素案）の施策新旧対照表について《起草資料No.1》 <ul style="list-style-type: none"> ○事務局から説明 <ul style="list-style-type: none"> ・前期と後期の新旧対照表である。福祉と健康分野の施策の変更点はない。 2 後期基本計画（素案）について《起草資料No.2、No.3》 <ul style="list-style-type: none"> ○市の素案を基に、各施策の「現況と課題」、「施策の方向性」について議論をした。 			

・意見内容については別紙のとおり。

3 その他

○次回の開催日程を確認した。

【決定事項】

平成27年5月19日（火）18時00分～ 西庁舎第5会議室

～以上で会議終了～

第1回起草委員会 意見メモ 福祉と健康

(平成27年4月14日 (火) 開催)

施策番号： 48 施策名： 地域福祉の推進

該当箇所		意見内容	備考
1	施策の現況と課題	福祉会館の建設について、現状どのようになっているのかを公表できる範囲で記載を追加してはどうか。十分な住民説明が必要である。	
1	施策の現況と課題	現状の記載だと、福祉の対象となっている人が高齢者と障がい者に特化しているように感じる。市民全体を対象とする「地域福祉の推進」とする記載に修正すべきである（例えば、子育て・子育ての観点が全く含まれていないように感じる）。	
1	施策の現況と課題	社会福祉協議会だけの記載となっているが、市民協働が謳われているなか、NPO法人など複数の団体・市民との連携についての記載を追加してはどうか。	
1	施策の現況と課題	市民同士のネットワークを強くしていくという視点が追加してはどうか。	
1	施策の現況と課題	生活満足度・こころの豊かさの向上という観点が必要であり、そのキーワードを使用してはどうか。	
2	施策の方向性	生活満足度・こころの豊かさの向上という観点が必要であり、そのキーワードを使用してはどうか。	再掲
2	施策の方向性	施策名が「地域福祉の推進」となっているにもかかわらず、「(仮称)新福祉会館」の建設自体が施策の方向性の前半を占めていることに違和感を感じる。福祉会館は重要であるが、福祉会館がなくても地域福祉の推進ができるものであるため、その建設自体が目指す姿とするのはいかがなものか。	

施策番号： 49 施策名： 低所得者・生活困窮者等福祉の充実

該当箇所		意見内容	備考
1	施策の現況と課題	生きがいを持って働くことができる仕組みづくりが必要であり、その視点がないのではないか。	
1	施策の現況と課題	低所得者・生活困窮者になる前に手助けをできる仕組みづくり（その人が必要とする情報提供や助言をコーディネートするなど）が必要であり、その視点がないのではないか。	
1	施策の現況と課題	平成27年度より生活困窮者自立支援法に沿った取組を実施しているとのことであるが、その周知が十分ではないのではないか。情報が必要な人に伝わるのが重要であり、行政において必要な情報を伝達するための手段が必要である（民生委員だけでなく他のネットワークも必要ではないか）。	
5	進めていく主な取組	平成27年度より生活困窮者自立支援法に沿った取組を実施しているとのことであるが、その周知が十分ではないのではないか。情報が必要な人に伝わるのが重要であり、行政において必要な情報を伝達するための手段が必要である（民生委員だけでなく他のネットワークも必要ではないか）。	再掲

施策番号： 50 施策名： 高齢者の活躍の場づくり

該当箇所		意見内容	備考
1	施策の現況と課題	高齢者の活躍の場づくりという施策名であるにもかかわらず、「シルバー人材センター事業を支援する」と固有名詞が出てきて、シルバー人材センターのみで活動できる場と機会の充実に努めてきたような印象を読み手に与える。 課題として、経験やスキルのある高齢者の活躍の場がつくられるような仕組みづくり（マッチング）が必要であり、例えばシルバー人材センターに限らず、ボランティアなども活用できるような仕組みづくりが必要な旨の記載にはどうか。	
6	施策	施策番号50と51を統合してはどうか（施策番号51と共通事項）。	
7	施策名	健康づくりや活躍の場づくりなどといった観点を考慮すると施策名は「高齢者の生きがいの場づくり」としてはどうか。	

施策番号： 51 施策名： 高齢者の生活支援

該当箇所		意見内容	備考
1	施策の現況と課題	老老介護のような介護をする側の高齢者に対する文言がないのではないか（施策番号53は介護保険の枠組みであり、高齢者を介護する家族に対する支援は当施策で記載してはどうか）。	
1	施策の現況と課題	元気な高齢者も含む全ての高齢者を対象とした生活満足度・こころの豊かさを感じていけるような視点が不足しているのではないかな。	
1	施策の現況と課題	認知症高齢者が地域で自活できる仕組みづくりが必要であり、その視点が不足しているのではないかな。	
6	施策	施策番号50と51を統合してはどうか（施策番号50と共通事項）。	

施策番号： 52 施策名： 介護予防事業の充実

該当箇所		意見内容	備考
1	施策の現況と課題	「介護予防の取組を一層強化する必要があります。」との表現であるが、市民目線としては堅い印象があり、参加しやすい表現に修正してはどうか。	
2	施策の方向性	参加しやすいコミュニティづくりが必要であり、その視点を追加してはどうか。	

施策番号： 53 施策名： 介護保険事業の充実

該当箇所		意見内容	備考
1	施策の現況と課題	「介護している家族支援も充実していく必要があります。」とあるが、表現が弱いのではないかな。例えば、「介護している家族支援も一層強化していく必要があります。」としてはどうか。	
1	施策の現況と課題	介護する側のサロンなど集まる場が必要であり、その視点を追加してはどうか。	
5	進めていく主な取組	介護する側のサロンなど集まる場が必要であり、その視点を追加してはどうか。	再掲

施策番号： 54 施策名： 子育て支援

該当箇所		意見内容	備考
1	施策の現況と課題	親が安心して子育てできる環境の整備が、乳幼児の時期と子育てには重要であり、その視点の記載が必要ではないかな。	
1	施策の現況と課題	学童期の子どもが安心・安全に学べる・遊べる場の提供を保障すべきであり、その記載を追加すべきである。 行政だけでなく、地域の団体・市民との連携も必要であり、その記載も追加すべきである。	

1	施策の現況と課題	地域ごとに子育て側のサロンなど集まる場を提供することが必要であり、その視点を追加してはどうか。	
1	施策の現況と課題	医療行為が必要な障がい児童の行き場がない（児童発達支援センターからも漏れる）という現状があり、全ての子どもを対象とした子育て支援の観点が不足しているのではないかと。子どものノーマライゼーションの観点も不足しているのではないかと（健常児のみが対象となっているような記載になっている）。	
5	進めていく主な取組	地域ごとに子育て側のサロンなど集まる場を提供することが必要であり、その視点を追加してはどうか。	

施策番号： 55 施策名： 子育て家庭の支援

該当箇所		意見内容	備考
1	施策の現況と課題	「施策の方向性」では「全ての子どもや子育て家庭を対象」となっているが、「施策の現況と課題」では全ての子育て家庭を支援対象とした記載になっていないのではないかと（待機児童と学童保育に絞られている）。	
1	施策の現況と課題	中高生の子育て家庭が対象となっていないような記載となっており、中高生を含めた表現にすべきではないかと。「施策の方向性」の「発達段階に応じた」という文言を「それぞれの育ちに応じた」という文言にしてはどうか。	
1	施策の現況と課題	小金井市では保健師がケアできない家庭については、水際で虐待を防ぐような行政との協働の仕組みづくりができてなく、その記載を追加すべきではないかと。	
1	施策の現況と課題	保育について、供給の量だけでなく、発達段階に応じた保育の質を保障することが重要であり、その観点の記載が不足している。	
2	施策の方向性	中高生の子育て家庭が対象となっていないような記載となっており、中高生を含めた表現にすべきではないかと。「施策の方向性」の「発達段階に応じた」という文言を「それぞれの育ちに応じた」という文言にしてはどうか。	再掲
5	進めていく主な取組	取組で現在活動しているボランティアなどを活用できるようにすべきである（他市では既に実績がある）。	

施策番号： 56 施策名： 地域の子育ち・子育て環境の充実

該当箇所		意見内容	備考
1	施策の現況と課題	関係機関という表現が対象が限定されているように感じる。	
1	施策の現況と課題	「小金井子育て、子育て支援ネットワーク協議会」が設立されたものの、市の参加がなく、実態として市と市民との協働となっておらず、その旨を課題に記載すべきである。	
2	施策の方向性	「広く地域の支援が届くシステムづくりに取り組んでいきます。」となっているが、「支援を必要としている人に地域として必要な支援を確実に届けます。」と修正してはどうか。	

施策番号： 57 施策名： ノーマライゼーションの推進

該当箇所		意見内容	備考
1	施策の現況と課題	施策名が「ノーマライゼーションの推進」となっているが、就労支援に記載が偏っている。障がい者と共に生きるというような意識啓発が必要であり、地域としてのノーマライゼーションの推進についても記載を追加してはどうか。	

施策番号： 58 施策名： 日常生活の支援

該当箇所		意見内容	備考
1	施策の現況と課題	権利擁護に関する取組について、記載を追加してはどうか。	

施策番号： 59 施策名： 医療との連携

該当箇所		意見内容	備考
1	施策の現況と課題	障がい者やその家族に対する相談について、サロンなど集まる場が地域ごとに必要であり、その記載が不足しているのではないか（障がい者福祉の中で、家族に対するケアの体制が必要である）。	

施策番号： 60 施策名： 保健活動の充実

該当箇所		意見内容	備考
	-	コメントなし	

施策番号： 61 施策名： 医療体制の充実

該当箇所		意見内容	備考
	-	コメントなし	

施策番号： 62 施策名： 医療保障制度の充実

該当箇所		意見内容	備考
	-	コメントなし	